

慢性疾患看護専門看護師

軽米病院 2病棟 主任看護師

千葉 美香 さん



Q 資格取得のきっかけについて、認定看護師ではなく専門看護師を目指した理由を含め教えてください。

一生懸命救命した患者さんのその後の長い経過に何度も関わる中で、病いや障がいを持ちながら生きる方々やそのご家族を長期的に支える看護の重要性を実感しました。医師の治療だけではなく、看護師の立場で支えるにはどうしたらよいか、幅広い観点から看護の力・専門性を探求したいと考えたので、認定看護師課程ではなく大学院修学を選択しました。

Q 取得までの流れはどうでしたか。

救急分野の勉強を経て、上記をきっかけに人間理解を深めたいと思い、働きながら大学に進学しました。大学では人間科学を修めつつ看護学も学び直しました。大学を卒業後、出産を経て、大学院の博士前期課程に進学、慢性疾患看護専門看護師課程で学び、修了後に専門看護師認定審査を受け、合格、資格取得となりました。

Q 働きながらの大学院生活はとても大変だったと思いますが、医療局の休業制度は活用したのでしょうか。また、大学院生活はどうでしたか。

実習期間を中心に修学部分休業の制度を利用しました。足りないところや通学には、非番・年次・夏季休暇・夜勤前後の時間をフル活用しました。専門看護師課程は他の院生よりも授業科目が多く実習もありますので、3 交替勤務をしながら学びを進めるのは想像以上に大変でした。それでも病院の皆さんや家族の支援で学ぶことができました。大学院生活は大変でも楽しく、先生方や共に学ぶ仲間との出会い、成長した自分との出会いは大きな喜びであり誇りでもあります。大学院での学びをすぐに臨床で実践できるのも、働きながら学ぶ大きなメリットだったと思います。

Q 資格取得後の院内での活動について教えてください。

専門看護師取得以前から実施していた、糖尿病患者さんへの療養指導や、地域の生活習慣病予防啓発活動等を継続しながら、糖尿病に限らず慢性疾患や障がいを持つ方やそのご家族の方への療養支援として看護療養相談を始めたり、院内の研修プログラムの企画・展開、講師などを行っています。

Q 一日のスケジュールを教えてください。

病棟勤務日と専門活動日でかなり違いますが、専門活動日は、午前中は、看護療養相談に対応したり、介入が必要な外来患者さんのピックアップ、午後は、多職種合同ミーティングや会議への参加、糖尿病外来や病棟での療養指導やフットケア、研修会や講演会の資料作りなどを行っています。連携調整のため他部署に伺いショートカンファレンスを行うこともあります。

Q 最後に一言お願いします。

慢性疾患看護専門看護師は、様々な領域を横断的に活動し、多くの方々の療養を支援する役割からニーズは高いと考えています。働きながらの大学院修学は楽ではありませんが、県立病院には慢性疾患看護専門看護師は 1 人しかいませんので、たくさんの方にチャレンジしていただきたいです。